



阿南高専便り



第6回NIT-NUU日台国際カンファレンス2023



第10回全国高等専門学校弓道大会(本校主管)



第58回全国高専体育大会陸上競技



第58回全国高専体育大会バドミントン競技

CONTENTS

校長挨拶	p2
機械コース便り	p3
電気コース便り	p4
情報コース便り	p5
建設コース便り	p6
化学コース便り	p7
専攻科便り	p8
学生会より・高専祭のご案内・ 令和5年度春季体育大会報告	p9

1年生研修報告・グローバル推進室便り	p10
阿南高専における広報活動について ..	p11
全国高等専門学校 デザインコンペティションについて ..	p12
新任教員挨拶	p13
図書館便り	p14
各種大会報告	p16

校長からのメッセージ



主体的学びを身につけよう ～ 阿南高専 情報教育を強化 ～

阿南工業高等専門学校
校長 箕島 弘二

猛威を振っていた新型コロナウイルス感染症はこの5月に季節性インフルエンザと同等の5類感染症に変更されました。7月には訪日外国人数もコロナ禍前の8割に相当する数に回復するなど、コロナ禍前の生活に戻りつつあります。本校も、短期海外留学を4年ぶりに再開するなど、学校生活も平常時モードになっています。昨年8月に高専便りの原稿を執筆した折に、「もう少しの我慢です。気を緩めずに乗り越えましょう。」と、お願いしましたが、真摯に対応くださったことに感謝します。一方で、合衆国等でも感染力最強と言われるオミクロン派生型のEG.5株によって感染者数が再び増大する傾向にあり、WHOはこの変異ウィルスを「注目すべき変異株」に指定しました。感染力は強いものの、大きな重症化リスクは確認されていないため、公衆衛生上の危険性は小さいようですが、インフルエンザと異なり感染後の後遺症の問題を有することや高齢者や基礎疾患を有する方は重篤化しやすいので、基本的な感染対策に気を配りつつ、学生生活を満喫してください。

さて、前号では、「専門分野によらず、情報・通信・AI技術の基礎事項やデータ科学を深く理解しておくことが必要」と指摘しました。本校では文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」を高専で初となる2021年に認定を受け、認定教育プログラムを翌年のカリキュラムに導入しました。引き続いて、「同プログラム（応用基礎レベル）」に認定される教育を提供できるように準備を進めていましたが、この分野の教育を強化する文部科学省の大学・高専機能強化支援事業の公募が今年度から始まり、計画調書を提出していたところ、採択の通知を受け取りました。これを受けて、2025年度以降の本科入学生を対象に全ての専門コースに情報教育を充実したプログラムを設け、併せて情報教育環境を拡充（高度情報教育センター棟新築含む）する計画です。在学生の皆様に対しては、入学時の教育課程表に載っていない新規情報教育科目を来年度以降にも受講できるように準備を進めるとともに、新たに導入する機器を活用して、情報教育の学習・実習の効果が上がるようにする計画です。

皆さんは、高等学校1年からの大学4年にあたりますが、高校生と異なり、本科1年生から生徒ではなく学生とよばれます。生徒は「教えられる」立場ですが、学生は主体的・自立的に学ぶことが期待されます。自ら主体的に考え、将来必要な事柄を情報関係に限らず積極的に学ぶことを期待します。AI・情報といえば、生成AIに注目が集まっていますが、それだけではありません。工学の各専門領域で機械学習をはじめとするAI手法が多用されています。また、オープンサイエンス[†]の重要性が指摘され、ARW（Automated Research Workflow）とよばれるAIと科学機器、ロボットを融合して研究・開発を加速させようとする試み、また、情報分野との融合以外にも各専門分野同士の融合など、研究開発や製造現場、さらに工学の対応領域も大きく変容しています。卒業・修了後にはこのような世界で活躍できるよう、主体的学びを今のうちに身につけることを期待します。

[†] <https://www.unesco.org/en/open-science?hub=686>

機械コース便り

機械コース主任 西 本 浩 司

今年度も機械コース主任を務めます西本です。どうぞよろしくお願いいたします。

機械コースの近況をご報告します。まず、研究教育活動についてですが、令和5年5月13日に開催された軽金属学会第144回春季大会において、専攻科創造技術システム工学機械システムコース2年 山本武海君（西本研究室）が「レーザ加熱によるA2024アルミニウム合金の表面溶体化処理と表面時効硬化」の題目でポスター発表を行い、優秀ポスター発表賞を受賞しました。次に5年生の進路についてご報告いたします。就職については、21名が内々定を頂いております。県内企業では7名の学生が、大塚製薬㈱、大鵬薬品工業㈱2名、日亜化学工業㈱2名、㈱リブドゥコーポレーション、サンスター㈱徳島工場などに決まっています。県外企業では、四国電力㈱、オークマ㈱、ファナック㈱、三菱電機エンジニアリング㈱、一般財団法人日本品質保証機構2名、㈱タダノ、㈱小松製作所などに決まりました。進学については14名の学生が、本校専攻科3名、長岡技科大 VOS 特待生、豊橋技科大5名、東京農工大2名、千葉大、三重大、徳島大に決まっています。



2 AM 山本君
軽金属学会 優秀ポスター発表賞



エンジンの分解組立実習



ロボット製作実習

3D プリンター



フライス加工実習



翼周りの流れの可視化実験

就職

5M 松本 颯

私は、香川県の㈱タダノという会社に就職します。本格的な就職活動は、4年次の冬に開催された学校主催の企業説明会において20社以上の説明を受け、すべての会社で働きたいと感じたところから始まりました。その後、大阪と神戸で高専生を対象として開催された説明会にも参加し、そこで説明を受けた多くの会社でも働きたいと思いました。就職先を選定するに際して、自分が何をしたいのか、好きな業種や自分の得意なものは何であるのかなど、自己分析することが1番大変でした。併せて会社選びの軸として、日勤、完全週休二日制、自分自身が楽しいと思えるものを作っているかどうかの3つを選定し、企業研究をしました。

このように、様々な条件を作り、たくさん選択肢がある会社を選ぶことをおすすめします。選択肢があることで自分に合わなかったとしてもやり直すことが容易だからです。また、企業研究する中で、給与面のことしか考えず就職活動をしている人もいましたが、せっかく就職にとっても有利な高専生なのに給与面だけしか考えないのはもったいないと思いました。給与以外の部分もしっかりチェックして、人生大成功の起点になる選択を踏み外さないようにじっくり悩んでください！

5年生のコメント

進学

5M 石田 大季

私が「進学」を選んだ理由は2つあり、1つ目は高専で学んだ機械工学の知識をより発展させて、自分自身をスキルアップさせたいためです。阿南高専での5年間は非常に充実したもので、専門科目でも用いられる物理や数学、機械工学の基礎科目である4力学の知識を深めるとともに、工作機械や実験装置を用いた実習・実験を通して、その仕組みや基礎的な知識の習得を行うことができました。しかし、今の知識に全く満足しておらず、将来人の役に立つ製品を生み出すためには更に実用的な知識の習得が必要であると考えています。そこで、大学での講義や研究を通して、製品設計の基礎知識から更なる技術の応用までを学びたいと考えるようになりました。2つ目は大学の推薦条件を満たしたためです。これは私が大学進学を決めた大きな要因です。大学の編入学試験の際には、推薦と学力の2種類があります。推薦は学力に比べて合格が容易で、大学によっては書類のみで試験が行われるため合格の可能性は十分に高いと言えます。私は高専生が多く進学を決めている技科大への進学をあらかじめ決めていました。その理由としては、同級生の多くが高専生ということですぐに馴染めて研究活動に没頭できると考えたからです。皆さんも何かのきっかけを大切に、進学か就職かの選択や進学先の決定を行ってみてください。

電気コース便り

電気コース主任 小 松 実

今年度も引き続き電気コース主任を務めます小松です。どうぞよろしくお願いいたします。

学生の進路について、進学希望者7名、就職希望者20名で、8月現在、21名の進路先が決定しています。求人企業が約600社という学生にとって有利な状況が続いています。5年生は、卒業研究が始まり、テーマ発表や進捗状況についての報告会を実施しています。学びの集大成として、自らの問題意識に基づいたテーマ設定を行い、主体的に取り組むことが求められ、課題発見力、計画力、想像力などの社会人基礎力の向上につながります。

令和4年11月に、日亜化学工業株式会社様から、電気コース（光・半導体技術者育成）への教育支援として多額のご寄附をいただきました。この寄附金は、光・半導体に

関する実験機器や機材の整備など、教育・研究の質向上を図るために活用し、光・半導体分野および地元企業の未来への貢献を目指しています。

3、4年生は、前期から電気技術イノベーション実習が始まり、今年は10社が起業して活動を開始しました。通常の業務を行いつつ、中学生一日体験入学の準備・運営を行いました。体験入学では特に3年生社長の会社が活躍してくれました。4年生は、夏季休業期間にインターンシップに参加しています。2年生は、専門科目に意欲的に取り組みながら、資格試験への挑戦など積極的に行っています。

電気コースでは、専門科目に関する知識や技術とともに、社会人基礎力の育成に努めています。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。



レーザー研究室



中学生一日体験入学



電気技術イノベーション実習

就職

5E 生 田 生

入学当初は就職に関しては何一つイメージできずとにかく勉強と部活動に取り組む毎日でした。しかし4年生で就職について本格的に向き合うことになり頭を抱えました。こういった企業に就職するのはもちろん、そもそも就職か進学どちらにするかでも非常に悩みました。しかし、インターンや企業説明会を通して、就職に対しての意欲が高まり、高専生も大学生同様に評価してくれる企業に惹かれ就職することに決めました。

現在は三菱電機（株）名古屋製作所様から内定を頂いています。興味のあるFA機器に関わる仕事に加え高専生を大学生と同じように扱ってくれることが決め手でした。就職活動に際して先生方はもちろん、先輩や同級生にも協力していただき、就職活動をスムーズに進めることができました。履歴書や面接では今まで高専でやってきたことを話すので、やはり「学生時代取り組んだこと」が就職活動では重要になります。

最後に、高専生活を充実させておけば就職活動で大きな支えになるので積極的に部活動やイベントに参加しましょう。早い段階で準備しておけば少しは余裕をもって進路を決められるのではないのでしょうか。何より今でしかできないことがたくさんあります。やり残しを少しでもなくして、充実した高専生活を送りましょう。

5年生のコメント

進学

5E 平 山 遥 樹

私が阿南高専に入学した理由は、就職に強く、国公立大学への編入もできるという点に惹かれたためです。実際に今年度の電気コースでも3月中に内定が決まった学生や、既に大学への進学が決まっている学生がいます。その中で私は徳島大学へ進学することを決めました。

私が大学に編入しようとしたきっかけは、高専の5年間で学んだ知識だけでは自分が就きたい職種で通用しないと感じたことです。また、徳島大学を選んだ理由は2つあります。1つ目は、電気コースでは電磁気学としてしか扱わなかったプラズマ工学について詳しく学べる点、2つ目はより規模の大きい研究が行える点です。

さて、大学編入するために難しいことは情報入手と勉強方法だと思います。これは多くの人が受ける共通テスト等に比べ、編入学試験はどの大学学部も少人数であることが多く、面接や口頭試問、試験問題等の情報が少ないことにあります。編入学試験の解答を大学側が公開しないことが多く、過去問を入手できても解答を自分で作成しないといけません。これらを解決するためには早くから同じ大学を目指す友人同士、キャリア支援室職員の方、進学担当の先生方との情報交換を密に行うことが重要だと私は考えています。

最後に、進学、就職、はたまた別の進路を選ぶにしても、一番重要なのは自分が何を大事にして生きていくかだと思います。たくさん考えて悔いのない5年間にしてください。応援しています！

情報コース便り

情報コース主任 福見 淳 二

本年度から情報コース主任を務めている福見です。どうぞよろしくお願いします。

今年度の情報コースの進路は、進学希望者 13 名、就職希望者 23 名となっており、他コースより進学希望者が多い傾向が続いています。就職先として県内は日亜化学工業(株)、大鵬薬品工業(株)、県外は富士通(株)、三菱電機(株)名古屋製作所、(株)デンソー、東芝 IT サービス(株)、(株)NTT データフロンティアなどで主に県外企業が中心です。進学先は、阿南高専専攻科、豊橋技術科学大学、徳島大学が中心となっています。

本校恒例のイベントとして毎年 8 月に実施される中学生一日体験入学では、情報コース各テーマの計画・運営を 5 年生が担当し、参加した中学生からも好評を得ています。



5 年生主体の中学生一日体験入学

今年度の情報コース体験希望者は 2 日間でのべ 168 名となっており、非常に多くの中学生が参加しています。さらに今年度も、徳島市内の大型商業施設でのイベントに情報コースとして出展する予定です。

また、コロナ禍で一時中断していた研修旅行を今年度から再開し、9 月 12 日～13 日に 3 年生が関西方面への 1 泊 2 日研修旅行を実施しました。理化学研究所計算科学研究センターのスーパーコンピュータ「富岳」やチームラボボタニカルガーデンの見学・体験とともに、2 日目には

USJ で最新情報技術の体験を行いました。

さらに情報コースでは学生の研究指導にも積極的に取り組んでおり、昨年度各種学会で発表した学生は約 30% であり、今年度は約 50% の学生による学会発表を目指して卒研指導を行っています。

情報コースでは、今後も AI エンジニアなどの最先端の技術・知識を身に付けた人材を輩出すべく、教育・研究の一層の活性化に取り組んでまいります。



3I 研修旅行 (スーパーコンピュータ富岳)



3I 研修旅行 (USJ)

就職

5I 折上 泰生

私は低学年の頃から大手 SIer (システムインテグレーター) として就職することを目標にしており、システムエンジニア職への内定を頂いた富士通(株)もその候補の 1 つでした。最終的には先生からの勧めもあり、実力を重視する富士通の戦場に挑戦したいという意志で応募しました。

実力を重視する企業文化は、人によっては厳しいと感じるかもしれませんが、ただ、もし努力不足のまま年功序列で勝手に給料が上がって満足してしまっているような自分がいたらそれは恥だと思っています。自己の成長のためにも、実力主義の風土がある企業でなければならないと考えており、実際の面接でもこの信念をぶつけました。

就職活動では、学業の成績よりも課外活動が評価される傾向にあります。私も勉強はそこまで得意ではありませんでしたが、プログラミング研究部の部長としての経験や、プログラミングコンテストなどでのチーム開発におけるプロジェクトマネジメントの経験が内定を獲得する重要な鍵となりました。後輩の皆さんの中で就職を考えている方は、今のうちに何らかの課外活動に取り組み、いわゆる「ガクチカ」を作っておくことをお勧めします。

高専生活も残り半年となりましたが、入社後いち早く上を目指せるよう自分に甘えず日々精進して参ります。

5 年生のコメント

進学

5I 中田 東 吾

皆さんの中で、就職後に高い給料を得るためには大学に行かなければならないと考えている人はいませんか？しかし、実際はその限りではありません。部活動を通して大会に出場したり、自主開発を行ったりして実績を作り、しっかりと就職活動を行えば、一般的な大学学部卒業者と変わらない給料で働き始めることができます。

では、大学に編入する意義とは何なののでしょうか。私は、研究をすることだと考えています。私自身、高専に入学したばかりの頃は、ただ漠然と偏差値の高い大学に編入すればいいだろうと考えていました。しかし、4 年生で研究室に配属され、さらに AI について研究したいという意志が強くなり、自分のやりたい研究ができる大学への編入を決めました。

進学を目指す方は、行きたい大学だけでなく、行きたい研究室を調べてください。たとえ進学できたとしても、目的の研究ができなければ 2 年間が無駄になってしまいます。また、高専での研究室選びも重要になります。大学のオープンキャンパスやインターンシップにも積極的に参加して、自分が本当に行きたい大学が見極めてきてください。進学に対するモチベーションが変わってきます。これらの話を参考に、ぜひ頑張ってください。

建設コース便り

建設コース主任 森 山 卓 郎

今年度、建設コース主任を仰せつかりました森山です。よろしくお願いいたします。

昨年の10月に、環境工学がご専門の景政柊蘭先生が着任されました。景政先生は大学院の博士課程を修了したばかりで学生とは年が一番近く、建設コース内にフレッシュな風をもたらしています。今年3月には松保先生が嘱託教授の任期を終え、ご退職されました。堀井先生は今年度末まで嘱託教授として授業などのサポートをされます。

コースの行事として、6月と7月には、毎年恒例となっている徳島県技術士会出前講座を3年生と4年生を対象にそれぞれ実施し、来訪した20名の技術士の方々から建設分野の業務についての説明や進路決定に向けてのアドバイスなどを受けました。最近、イオンモール徳島で行われている本校のイベントに、建設コースとしても5月と8月に参加しました。「ペーパーブリッジをつくろう」や「ブリッジコンテスト」などのテーマを実施し、スタッフとして参加した4年生や5年生の学生が来場した小中学生の対応などをしてくれました。6月には、建設コース2年生のコース配属の歓迎会を行いました。建設コースの教職員や上級生らとの交流の機会となりました。コロナで中断していた関西方面への研修旅行や伊方発電所などの見学旅行を再開させるなど、今年度からはコース内の各種イベントもまた行っています。今後も建設コースにご支援のほど、よろしくお願いいたします。



徳島県技術士会出前講座



イオンモール徳島でのイベント

進学先 阿南高専専攻科、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、徳島大学、千葉大学

就職先 県内：(株)姫野組、西野建設(株)、(株)フジタ建設コンサルタント、(株)環境防災
県外：(株)竹中土木、(株)IHIインフラ建設、西日本高速道路ファシリティーズ(株)、NTTインフラネット(株)、大和リース(株)、日本下水道事業団、国土交通省四国地方整備局

就職

5C 山口 夢 叶

私は、「大学に進学をしなくても就職率が100%」である高専に魅力を感じ、阿南高専に入学しました。将来のことは明確には決まっていなかったですが、建設コースに配属され、専門科目の授業を受けていく中で、より地域社会と密着し、社会基盤をつくる土木分野の業務に興味を持ちました。そこから、徐々に土木分野への「就職」を視野に入れ始め、自分が将来何をしたいのか見えてくるようになりました。その後、様々な会社の説明会や卒業生の先輩のお話を伺ううちに、日本下水道事業団の事業内容や職場の雰囲気を知り、エントリーすることを決めました。それからは、事業団で働かれている卒業生の方とお話しする機会を設けていただいたり、座談会に参加したりと積極的に企業研究に取り組みました。また、卒業生の方との繋がりはとても大切で、最終面接時に会社案内をしていただいたり、分からないことがあれば気軽に連絡が取れたり、メリットがたくさんありました。就職活動をしていく中で不安も当然あると思いますが、私の場合は悩み事があればすぐに先生や先輩に相談できていたことが何よりも救いでした。みなさんもこれから将来への不安や悩みが少なからず生まれると思います。そんな時には、周りの方を頼ってください。きっと力になってくれるはずです。私もその1人です。応援しています！

5年生のコメント

進学

5C 白草 慶 大

私は卒業後の進路に進学を選択しました。受験勉強で苦労したことは、面接です。私は本校に一般入試で入学したため、面接練習の経験がありません。まずは、自己分析から始まり、自分の長所・短所、志望動機や将来の目標など、試験で聞かれる内容を想定し、まとめます。次に、面接練習です。私は、緊張しやすく、人前で話すことが得意ではありません。そのため、面接に慣れるため、できるだけ多く練習の機会を設けました。本番はある程度落ち着いて面接ができましたが、口頭試問では、どれだけ訓練したとしても予想していない質問もあり、その場合はかなり動揺します。そういう質問があるということも念頭におき、自信がないときの対応も訓練しておく方がよいと思われます。面接練習では、先生や友人に何度も協力していただきました。その際に、先生方が実際経験された具体的なアドバイスもたくさんいただきました。過去問への取組も重要です。問題の傾向を分析しておくことは必須だと実感しました。友人や先生方の協力は心強かったです。後輩の皆さんには、困ったことがあれば一人で悩まずに周りの人に気軽に相談し、受験すると決めたら悔いなく全力で頑張ってもらいたいです。

化学コース便り

化学コース主任 小西 智也

今年度の化学コース主任の小西です。どうぞよろしくお願いいたします。

依然としてコロナ禍が続いていますが、化学コースでもマスク着用、手指消毒等の感染対策を講じた上で、対面授業、実験授業を行っております。

5年生の進路についてご報告いたします。まず就職状況については、6月中旬までに希望者21名全員が内々定を頂けました。とくに、大塚製薬株式会社、株式会社大塚製薬工場、大鵬薬品工業株式会社、三洋化成工業株式会社、日東電工株式会社は、ここ数年連続して採用をいただいております。進学については7名が希望していますが、8月末までに専攻科、長岡技科大（VOS 特待生）、豊橋技科大、徳島大、香川大、岡山大、神戸大、大阪大にのべ12名が合格しています。

5月にはイオンモール徳島において学生が中心となつてものづくり体験イベントを出展し、8月には一日体験入学で化学コースに120名弱の中学生が集まりました。また、

学生が主体となつて研修旅行の再開に向けて計画が進んでいるところです。今後とも、化学コースの教育・研究活動へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



ものづくり体験イベント



中学生一日体験入学



新2年生白衣着用式

就職

5Z 大森 菜月季

私は早く社会に出て自立したいという思いから、進路を就職に決めました。県内就職と製薬業界を軸にして企業選びを進めていき、私が望む形で社会に最も貢献できると感じたのが大塚製薬株式会社でした。インターンシップにも参加させていただき、先生方の支援もあって内々定をいただくことができました。高専卒の就職では、19歳で、その後50年近く働くかもしれない企業を選ばなければなりません。職種や勤務地などの条件でどれを優先すべきかでさえ、とても迷うと思います。就職活動において、最も必要なことは自分の気持ちを自分の言葉で表現することです。しかし、私にとってはそれが一番の難関でした。悩んだときは家族や友達、先生方にたくさん相談してください。そうすることで、自分がなんとなく考えていたことに、意外と明確な理由があることに気づきます。たくさんの人と関わり合いながら充実した高専生活を送ってください。

5年生のコメント

進学

5Z 太閤 良樹

1年生の終わり頃に発見された新型コロナウイルスは瞬く間に世界中に広がってゆき、私たちの生活を一変させました。非常に多くの制約が課され、何をするにも不自由な中、少なくとも目の前にあるものだけでも取り零さないよう一生懸命取り組んできました。

あるとき、コロナ以前の高専生活はもっと自由で豊かな物であったはずだということを思い出し、学生会や自身の所属しているクラブなど、様々な方面から少しでもという思いでアプローチし始めました。それからは毎日が口にし難い程忙しく睡眠不足が常でしたが、とても楽しい毎日でした。頼りになる後輩方々にも出会う事が出来ました。

そうしていろいろ取り組んでいく内にその姿勢が評価され、長岡技科大に特待生として受け入れてもらえることになりました。

皆さんはもしかしたら将来に漠然とした不安を抱えているかもしれません。現に私がそうでした。しかし、今出来ることは何かと自身に問い、是非後から振り返った時に後悔の残らないようにしてください。そして全力で高専生活を楽しんでください。皆さんの力があれば成し得ない事はありません。

専攻科便り

専攻科長 岡本 浩行 (情報コース)

令和5年度から専攻科長を仰せつかることになりました。情報コースの岡本です。よろしくお願いします。専攻科は、本科卒業後の2年間の過程であり、創造技術システム工学専攻の1専攻に機械システムコース、電気電子情報コース、建設システムコース、応用化学コースの4コースで構成されています。専攻科では「専門分野に関する確固たる知識をベースとして持ち、その方法論・実践力を幅広い工学分野を対象として創造的に活用できる技術者」を養成することを目標として教育に取り組んでいます。

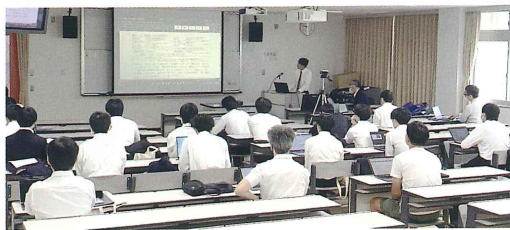
1年生は、今年度から前期・後期のセメスター制(昨年度まではクォーター制)となり、夏季のインターンシップ期間は短くなりましたが、海外を含めて企業でのインター

ンシップに積極的に参加し、将来への準備を進めています。2年生は、企業への就職活動や大学院進学に向けた受験勉強を順調に進めています。またコースの枠を超えて複数のコースの学生が一つのチームを組んで活動を行う創造工学演習では、それぞれのメンバーがチームにおける役割を認識してチームとして活動するために必要な能力の育成を行っています。さらに昨年度、専攻科棟の講義室を合併し、収容人数を増やした講義室を整備しました。今年度からは整備された講義室で専攻科生全員に対する授業などを実施予定です。

引き続き、専攻科の目標達成のために全力で取り組んでいきますので、ご支援の程よろしくお願いいたします。



専攻科対面式



専攻科特別研究中間発表会及び履修計画書発表会



創造工学演習授業風景

専攻科1年生 からのコメント

1AE 熊田 光希

専攻科に入学して5か月、私が専攻科に入って感じたことについて紹介したいと思います。専攻科では幅広い専門知識を学ぶことができます。本科の時とは違い、自身の専攻分野以外にも他コースの分野に触れることができ、他コースの人達との交流を通じて知識の幅が広がりました。また、専攻科でも本科と同様に就職する際、沢山の求人が来ています。私もそうですが、求人が多い高専で就活したいが学士を取得したい、という考えを持つ人には専攻科は大変おすすめです。さらに、今年からはコロナ禍のため中止していた海外留学が再開されました。現地での授業や研究といった貴重な経験は滅多に得ることができないものです。専攻科に入学を考えている人はぜひ参加をおすすめします。専攻科は、これまでの専門知識をより深く学ぶことができる場です。他分野の知識も習得できるため、本科とは異なる、さらに有意義な高専生活を送ることができます。進路の1つに専攻科を考えてみてはいかがでしょうか。

専攻科1年生 からのコメント

1AZ 野村 礼音

私は理系科目が好きなことから本校に入学し、その中でも化学が得意だったので化学コースを選びました。本科卒業後も高専の恵まれた環境でもっと深く勉強や研究を続けたかったので専攻科に進学しました。専攻科を選んで私がよかったと感じるところを挙げさせていただきます。①専門外の機械系、電気系、情報系や建設系の授業が増えたのですが、それらがとても新鮮で、新しい知識も身につくので、自分の世界が広がっているように感じています。②講師の先生は私たちが本科でどこまで教わっているかを知って下さっているので、本科と専攻科の講義への接続がスムーズです。最初の講義から効率よく勉強できました。③本科の卒業研究で結果が出始めた課題を、特別研究として継続できることです。その成果を自分で学会発表できることは楽しみです。今後は化学の知識やコミュニケーション能力をさらに高めて、修了後は即戦力として社会で活躍したいです。

専攻科2年生 からのコメント

2AM 山本 武海

専攻科では、本科ではなかった他分野のコースの学生と授業を受けることができ、他分野の科目を受けることができます。その中で、自分の専門外の科目では苦戦することもあるかもしれませんが、専門としている学生に聞くことで理解することができました。幅広い授業を受ける中で、グループワークや発表の機会がたくさんあるので、協調性や主体性を身につけることができ、コミュニケーション能力を上達させることができます。また、インターンシップでは県内外の企業にお世話になり、社会人としてのマナーや働く上で大切なことを学ぶことができました。東京にある大手の工作機械メーカーでは、最先端の装置を使った研究に参加させていただき、非常に貴重な体験となりました。また、特別研究にも力を入れることができ、軽金属学会での学会発表ではポスター賞を受賞することができました。このように、「専攻科でしか得られない経験」は多くあったと実感しているので、専攻科に進学してよかったと感じています。

専攻科2年生 からのコメント

2AC 佐野 俊介

今年で高専生活も7年目を迎え社会に飛び立つ準備をしています。本科に入学した1年生のころにはこの学校に7年も在籍するとは考えてもいませんでした。しかし、2年多く在籍することで得られたものはたくさんあります。私自身専攻科1年生のころに、他コースの専門知識が全くない状態で授業を受けますが、先生方もある程度それを考慮した授業をしてくださり、「自分の専攻以外わからなくて不安」という方でも入りやすい環境となっています。ほかにも私たちの代は就職組が多いですが、専攻科の長所は進学が非常にしやすいところだと思います。本科4年生のころに先の見通しができていない人でも、卒業研究に加えて専攻科での授業や研究を経験することで、学力だけでなく行動力も身につきます。

私は上記のような成長を実感することができましたので、専攻科に進んでよかったと感じています。

学生会より

学生会長 4C 高橋 颯 太

私たち学生会は、各種イベントの企画や運営など皆さんのより良い学校生活を目指し日々活動しています。ここでは、「学生会について」、そして「最近の活動内容」の2つについて紹介します。

学生会は6つの委員会構成されています。

- ① 環境委員会：校内環境の整備 ※花壇の植え替えや水やり、七夕の笹の設置など
- ② 監査委員会：各部活動の監査を行い、課題点や成績の聞き取り調査を行った上で、各方面への連携強化を深めつつ、課題解決を図る
- ③ 広報渉外委員会：学生新聞の作成と掲載、インスタグラムにてイベントの告知など
- ④ 安全委員会：自転車の施錠確認や整頓、違反者への指導
- ⑤ 会計委員会：全体予算の決定や、監査結果を元にしたクラブ予算の決定、経費の立て替え
- ⑥ 書記委員会：定例会の議事録作成や学生会名簿の管理

次に活動について、5月に学生会が主となり春季体育大会を開催しました。今年はコロナウイルスも収まりつつあり4年振りに専攻科を含む全学年での体育大会を開催することが出来ました。要項作り、計画、準備から大会当日のアナウンスや進行、点数確認など学生会一丸となって運営を行いました。久々の学年の壁を越えたイベントということもあり、先生方、各部活動関係者の多くの協力のもと、とても良い行事にすることが出来ました。協力してくださった方々改めて御礼申し上げます。

現在学生会では新規のメンバーを募集しています。1年生はもちろんのこと、2～4年生でまだ学生会に入っていない方も、少しでも興味があれば、定期的に定例会を開催していますので、是非足を運んでみてください！

「蒼阿祭 2023」

開催日 **2023.11.4 SAT**

テーマ

**個性と自由ではみ出していく
新しい蒼阿祭のリーダーズ**



ぜひご来校なさって
楽しんでください！
皆様のご参加を
心よりお待ちしております。



高専祭のご案内

昨年度は、新型コロナウイルスの影響から、高専祭と名を改め新しい阿南高専の学園祭の形として開催いたしましたが、今年度は、その規制を解除して、コロナ禍前と同じ形式で開催しようと計画しております。

今年度は昨年度開催した、カラオケ大会や、ストリートピアノ大会、ビンゴ大会、専門展示などのイベントに加えて、「ジョイマンさん」「シマッシュレコードさん」のゲストをお招きして、ネタ披露をしていただきます。あとキッチンカーも呼び、飲食も楽しんでいただけるように計画しております。

詳しくは後日HP等でお知らせする予定です。是非ご確認ください。

報告

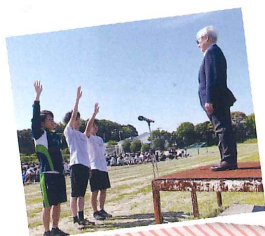
令和5年度春季体育大会

副学生主事 新井 修 (一般教養)

令和5年5月12日(金)に春季体育大会を実施しました。今大会は、4年ぶりに本科生及び専攻科生が一斉にサッカー・バスケットボール・バレーボール種目に取り組みました。天候にも恵まれ、学生会の団結もあって、スムーズな大会運営を行うことができました。

結果は、総合優勝が4年建設コース、総合準優勝が3年機械コースとなりました。種目別では、サッカー優勝が3年機械コース、バスケットボール優勝が4年建設コース、バレーボール優勝が4年建設コースとなりました。また新種目としてコース対抗リレーを行い、機械コースが優勝しました。

学生のハツラツとしたプレーが随所に見られ、大変盛り上がった体育大会となりました。



1年生研修

学生主事補 中 島 一 (一般教養)

令和5年4月18日(火)・25日(火)に1年生研修を実施しました。研修プログラムは、救命救急講習会とニュースポーツ体験会(ペタンク大会)としました。

救命救急講習会

本校の田中看護師を講師に迎え、心臓マッサージを体験したり、人命救助の手順を動画で確認しました。参加した1年生は、講師の話をよく聞き、熱心に取り組んでいました。



ニュースポーツ体験会

学校体育ではあまり経験できない、ペタンクに取り組み、クラスメイトとの親睦を深めました。

多くの学生の笑顔が見られ、楽しい時間を過ごすことができました。



グローバル推進室便り

グローバル推進室室長 安 田 武 司 (機械コース)

令和4年度から引き続き、今年度もグローバル推進室の室長を務めております、機械コースの安田武司です。さっそくですが、今年度から阿南高専のメンバーとなった留学生のみなさんを紹介します。1、2人目は情報コース3年、イラン出身のホマンさんと、化学コース3年、ラオス出身のリーセンさんです。2人は1年間東京で日本語を学び、今年の3月末に阿南に到着しました。3、4人目は1年3組のダーダーさんとノットさんで、2人ともタイ出身です。チュラポーン王女科学学校の中学課程を終え、阿南高専の1年生となりました。彼らのクラスメイトのみなさん、いや、阿南高専全学生のみなさん、ぜひとも、日本人学生・留学生に関わらず、みんなで仲良く勉学や実験実習、課外活動に励んでいただけたらと思います。

いわゆるコロナ禍の影響で、「阿南高専から世界へ!」といった短期留学が近年難しい状況でしたが、ようやく…何とか…、今年度は一部の海外機関に短期留学として学生を派遣することができました。行先は、ベトナムのカオタン工業短期大学と、シンガポールのリパブリックポリテクニクです。ベトナムには11名の学生が8月16日に、シンガポールには2名の学生が8月17日にそれぞれ出発し、私がこの高専便り125号の原稿を作成している8月25日現在、現地に順調に活動を進めています。特に、ベトナムのカオタン工業短期大学内には「KOSENモデルコース」が

数年前に設立されたばかりで、日本の高専をモデルとした「コースとしての高専」があるのです。ベトナムに旅立った11名の学生は、現地到着以降、この「KOSENモデルコース」に所属するベトナムの高専生との交流を深めているようです。お互いに英語で自己紹介することから始まり、ディスカッションをしたり、ベトナムの高専生の案内で学内や街中を見学したりと、たいへん充実している様子です。これから9月の帰国までは、専門的なワークショップやプロジェクトにも大学内で取り組む予定であり、彼らが帰国してからどうだったかお話を聞くのが楽しみです。

短期留学を果たした学生の皆さんは、後学期開始までにベトナム、シンガポールそれぞれから帰国する予定ですので、ベトナムやシンガポールでの体験座談会などを開くのも良いですね!高専便り125号発行の時期には、もう実現しているかもしれません。一方、「国際交流に興味はあるけれども、少し不安だなあ…」と考える方もいるかもしれません。しかし、ご安心ください。「国籍の違う人々と一緒に過ごしとっても、まあ~そんな特別なことではない」、「言語や文化に違いがあるんは当たり前やけん」、「ほれがグローバルってことちゃうん?」という持論を私は持っています。皆さんの学生生活から得られるたくさんの交流・見聞・経験から、あなたにとってのグローバルを見つけてくれたらいいなあと思います。

ベトナム カオタン工業短期大学での様子



広報情報室より

広報情報室長 藤 井 浩 美 (一般教養)

広報情報室では阿南高専の魅力を伝えるべく様々な広報活動を行っています。特に近年では、徳島県内・淡路島に限らず、全国から広く志願者を集めようと、大阪や東京での広報活動にも力を入れています。その成果もあり、現在、愛媛・大阪・京都・奈良・千葉・山形・長崎など、全国から34名の県外出身の学生が在籍しています。また、説明会では当事者の立場から阿南高専の魅力について語ってもらおうと、本校の現役学生や卒業生にも広報活動に積極的に参加・協力してもらっています。今回は、今年度前半に実施した広報活動について紹介します。

5月27日(土)、28日(日)にイオンモール徳島にて高専説明会を実施し、2日間で92組173名の参加がありました。高専制度説明・阿南高専学校紹介に引き続き行われた質疑応答では、本校の4・5年生が「学校は楽しいですか?」「勉強は難しいですか?」「寮生活はどのような感じですか?」など、学校生活や寮生活に関する参加者からの質問に熱心に答えました。現役学生の生の声・本音を聞ける貴重な機会となり参加者からの反応は上々でした。また、同日・同会場では「ものづくり体験イベント」も開催しました。ザリガニロボット製作体験、eスポーツ体験、ロボット操縦体験、VR体験など様々なブースにたくさんの方が立ち寄ってくださり大盛況でした。「ものづくり体験イベント」は、8月、10月にも開催予定です。



ものづくり体験イベント(5月@イオンモール徳島)



高専説明会(5月@イオンモール徳島)

6月4日(日)には、淡路島(会場:サンライズ淡路)で高専説明会を実施しました。島内外から4組の参加がありましたが、その中には、1週間前、買い物で訪れていたイオンモール徳島で開催されていた「ものづくり体験イベント」に偶然参加し、阿南高専に興味をもったという中学生とその保護者も含まれていました。

6月18日(日)および7月18日(日)には、東京と大阪でそれぞれ開催された「国公立高専合同説明会」に昨年に引き続き参加しました。当日会場では、全国から国公立の高専が一堂に会して、各高専の特色の紹介や個別相談会が行われました。来場者数は東京会場669名、大阪会場は925名と大盛況で高専の人気ぶりが伺えるものでした。阿南高専のブースには、本校OB・OGが駆けつけてくれ、個別相談に立ち寄ってくれた来場者に阿南高専の魅力を卒業生の立場から存分にアピールしてくれました。説明会後には、手厚い学生支援体制が決め手となり阿南高専へ興味を持ったという、県外在住の中学生からの「中学生一日体験入学」の参加や夏休み中の校内見学の申し込みが寄せられるなどの成果がありました。

以上、今年度前半の広報活動を紹介しましたが、9月下旬からは「放課後オープンキャンパス」を開催予定です。その名の通り、中学生に放課後に阿南高専に来てもらい、校内施設・クラブ活動などを見学してもらおうイベントです。当日は本校の学生が案内役を務めます。元々はコロナ禍の影響で「中学生一日体験入学」が行えなかった代替として始めた取り組みでしたが、今年で3年目を迎えます。昨年度は受け入れ人数いっぱいの参加申し込みがあるなど好評な企画となっています。

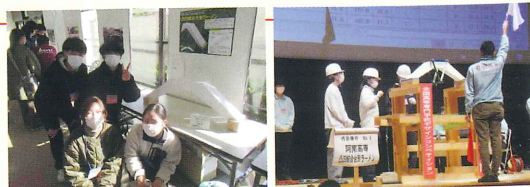
全国高等専門学校デザインコンペティションについて

■ 高専デザコンについて

「全国高等専門学校デザインコンペティション」(通称:高専デザコン)は、ロボコンやプロコンと並ぶ高専のイベントで、主に建設系や機械系の学生が参加しています。構造デザイン、空間デザイン、創造デザイン、AM デザイン、プレデザコンの各部門からなり、作品を作成したりプレゼンをしたりすることでデザイン力などを競い合います。この高専デザコンは、2024年11月2日から3日まで阿南高専を会場として開催されます。大会のメインテーマは、「繋」です。この一字には、つながる、つなげる、つながりなど様々な意味が込められています。期間中は全国からたくさん的高専生や教員、来賓や審査員の方々が来校します。学生の皆さんには、色々と手伝っていただくこともあるかと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■ 構造デザイン部門

構造デザイン部門は、紙などの材料を用いて橋や建物の模型を作り、その軽さや強度、審査員の評価点の総合評価で競う競技です。載荷方式や構造形式などのルールの一部が毎年変更されるため、創意工夫が必要となります。昨年度の構造デザイン部門のテーマは「新たなつながりーふたつでひとつー」でした。紙を使って、分割された2つの部分がスパン中央でつながり一つとなる橋の模型をつくることが求められました。本校からも4名の学生が参加し、残念ながら入賞は叶いませんでしたが、54チーム中25位と健闘しました。



本校からも4名の学生が参加し、残念ながら入賞

■ 空間デザイン部門

デザコンは1977年に建築学科のある高専同士の交流会「全国高専建築シンポジウム」から始まり、現在までに構造、創造、AM、プレデザコンとその領域を拡大してきました。「空間デザイン」は当初の「建築」分野のみを扱うのではなく、都市空間や土木構造物、そして交通や情報空間等を含めた「人が生きる生活環境」という総合的な空間デザインの設計競技(コンペティション)となっています。1次審査ではA2版のプレゼンボードを提出し、100点程度の作品から10点程度に選ばれます。10点の作品には全国的に著名な建築家や都市計画課等の審査員からのコメントが出され、2次審査までにプレゼンの修正と模型の作成を行い、本番のプレゼンテーションに挑みます。一高専の設計授業のレベルを超えた学生同士が競い合う場として互いに研鑽しあう場として位置づけられています。



■ 創造デザイン部門

創造デザイン部門は地方都市における人口減少や少子高齢化の問題あるいは首都圏をはじめとする中心都市への人口集中といった問題に対し、様々な視点からこれらの問題を解決する競技を行っています。本年度は都市モデルのオープンデータ「Project PLATEAU」を用いた問題解決を行うテーマが設定されています。来年度は2050年までに実施しなければならない「脱炭素」への取り組みを踏まえ、新たな視点からこれらの都市問題に対する新しい提案をしていただく予定です。なお、本選では予選を勝ち抜いた各チームの学生同士がWSにて様々な解決策を考える活動も予定しており、多くの学生同士が交流できる機会になることを期待しています。

■ AM デザイン部門

AM デザイン部門は、3次元CADと3Dプリンタを用いて新たなものづくりに挑戦する競技となっています。昨年度から「新しい生活様式を豊かにしよう」というテーマで行われ、コーヒーなどを机に固定する機器やいろいろな環境スキー板などに変形する車輪、新たな義手の提案などがありました。来年度は新たにテーマを設定し、ソリッドワークスジャパンの協力をいただき、新たな賞の設置や提案されたものづくりの評価をいただく予定です。



■ プレデザコン部門

プレデザコン部門は本科1年生～3年生を対象として実施される競技であり、「空間デザイン」「創造デザイン」「AMデザイン」の3つのフィールドが設定されています。「空間デザイン」では、現存または過去に実在した空間の透視図が募集され、条件として異なる時間や視点が混在する唯一無二の時空を表現することが求められています。「創造デザイン」では、例年、次年度大会のトートバックのデザインが募集されています。阿南大会のトートバックデザインは阿南大会のメインテーマ「繋」を連想できるデザインを今年度の舞鶴大会で募集しており、提出された作品の中から来場者の投票形式でトートバックデザインが選定される予定です。「AMデザイン」は、今年度よりテーマが変更され、3Dプリンタを用いた造形作品で競うことになります。舞鶴大会では、プレデザコンのテーマ「みんな、あつまれ」を表現する作品が募集されています。プレデザコン部門は低学年対象ということもあり、他の4部門に比べると比較的取り組みやすいテーマ設定となっていることが特徴です。

新任教員挨拶

3名の新しい先生が着任されました。

創造技術工学科・建設コース

かげ まさ しゅう か
助教 景政 柊蘭

担当
授業 ものづくり工学
環境学概論
建設基礎演習
環境工学
建設工学演習2
環境工学2
環境実験
環境工学特論
建設システム工学実験

専門
分野 環境工学

令和4年10月に建設コースに着任しました景政柊蘭です。専門分野は、環境工学であり、そのなかでも廃水処理の主役である微生物に関する研究を行っています。私は香川高専出身であり、高専の卒業研究時より廃水処理に関する研究を行っています。高専時は、廃水処理装置について衛生学的観点から性能評価を行っていました。高専での卒業研究を通して、分からないことを自分の手を使って検証できることに研究の面白さを感じるようになりました。そして、目で見ることのできない微生物の世界ではどのようなことが行われているのかを知りたい!という思いから大学院へ進学し、微生物の種の同定や代謝特性の予

測に関する研究を現在まで行っています。今後は、学生の皆さんと一緒に廃水処理の面から徳島に貢献することができる研究を行いたいと考えています。

私は香川県出身ですので、徳島県のことについて詳しくないため、おすすめの場所や物など徳島県の魅力をぜひ教えてください。お互いに教え合いながら、学生の皆さんと一緒に成長できれば良いなと思っています。また、皆さんとは同じ高専生同士（私は元ですが）ですので、共有できる悩みもあるかと思っています。高専時代の経験などを活かして皆さんの学生生活のサポートを行いたいと考えていますので、今後ともよろしくお願い致します。

創造技術工学科・一般教養

えん どう けん た
助教 遠藤 健太

担当
授業 基礎数学1
線形代数

専門
分野 解析的整数論

令和5年4月に一般教養に着任しました遠藤健太です。担当科目は数学で、専門分野は解析的整数論となります。研究手法は、微分積分、複素関数論、関数解析学、確率論などを用います。これらの個々の内容は、工学でもよく用いられているものです。これから、私の経験を高専での教育に活かしていきたいと考えています。また、最近では工学方面の教育研究にも携わっており、高専の学生向けに「有限要素法の数学的原理」のレクチャー活動なども行なっています。「有限要素法の数学的原理」の理解を深めることで、CAE解析などの解析

技術の向上をすることが狙いです。興味のある学生は、お気軽に話しかけていただければと思います。

学生時代は、手品サークルに所属しておりました。今でも、考え事をしているとおもむろにトランプやコインを触っていることがあります。サークルでは、副部長も務めていましたので、教育面のみならず、サークル・同好会での活動等の学生生活の面でもサポートできると思います。今後は、高専で色々なことにチャレンジしていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

創造技術工学科・化学コース

え づれ りょう すけ
助教 江連 涼友

担当
授業 化学工学基礎
化学工学2
物質化学実験
共同教育
創造化学セミナー

専門
分野 化学工学
分離工学

令和5年4月に化学コースに着任しました江連涼友です。専門分野は化学工学であり、特に「混合物から特定の成分を分ける“分離工学”」が専門です。これまで、ガスハイドレートを用いた温室効果ガスの分離・回収技術の開発について取り組んでいました。ガスハイドレートは、水とガスで形成される氷状の結晶化合物です。温度や圧力条件、ガスの種類でハイドレートのできやすさが変わります。ハイドレートを分離材にすることで、地球に優しい温室効果ガスの分離・回収が可能になります。これまでの私の経験をもとに、学問の楽しさや実社会との関係性について学

生の皆さんと共有していきたいと思っています。また、分離工学の知識を生かして、地域の方々と積極的に連携していきたいと考えています。

私の趣味は、ラジオを聴くことです。特にお笑い芸人の方や断家の方のラジオをよく聴きます。映像を使わずに言葉のみでリスナーを楽しませる技術にはいつも感銘を受けます。私は栃木県の出身ですので、徳島県や阿南市のことは知らないことが多く、学生の皆さんに阿南市の特色等を教えてもらいながら、いろいろなことに取り組んでいきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

図書館便り

図書館長から

図書館長 松尾 俊寛（一般教養）

学生時代、論文を漁るために図書館の書庫に行くのが日課のような時期がありました。四半世紀以上も昔のことです。今のようにはネットはなくPDFもありませんでしたから、論文を読もうと思えば自分で雑誌からコピーをとって整理する必要がありました（かろうじてコピー機はありました）。目当ての論文のとなりに掲載されている論文のほうが面白そうで、思わぬ方向に研究が進んでいったこともありました。誰にも邪魔をされることなく、分野の何十年分の研究成果が収められた雑誌や本に囲まれて、自分の研究の方向を模索しさまよう感覚は「ああ、大学で研究している」というなんとも言えない高揚した気分になり、机に戻ってからの集中力に幾分か寄与していたような気がします。阿南高専の図書館も、みなさんの学生時代の一幕の記憶に残るような場所になればいいと思っています。

教員推薦図書

先生方にお薦めの図書を紹介していただきました。



問うための哲学書

小川 仁志・萱野 稔人 著

NHKのEテレで「ロッチと子羊」という番組があり、よく見えています。この番組はお笑いコンビのロッチがMCで、「飽きっぽい性格を直したい」「自分の意見がなかなか言えない」などの悩みを抱える人と対話して、その悩みを世界のいろいろな哲学者の思想を基に解決しようとする番組です。その哲学者の考えを紹介する役が著者の一人の小川仁志氏。彼ともう一人の著者萱野稔人氏の対話形式でさまざまな哲学書を紹介するのが本書です。内容は、たとえば、「愛するとはどういうことか？」はプラトン、「なぜいじめはなくなるのか？」はスピノザ、「戦争はなくせるのか？」はカント、といったように、こちらも我々の身近な問題を哲学者の思想で解決しようという趣旨の書です。テレビでロッチをやり込めている小川氏が、本書ではけっこう萱野氏にやり込められているところが面白い。

萱野氏は弁が立ちますね。ぜひ一読を。

一般教養
藤居 岳人
先生より



チベット旅行記

河口 慧海 監修

今年は新型コロナウイルスとの長い闘いが終わったかのように、世界中に人々が移動し始めました。誰だって自由に旅ができる、そんな時代に生きているってことは素晴らしいです。その昔、航空機やインターネットのなかった頃、地球は今よりももっと広く、簡単にはいけないところや知らないことも多かったはず。今回紹介する『チベット旅行記』は、120年前に鎖国中のチベットに日本人僧侶の河口慧海（えかい）が単独で潜入するお話です。このおじさんは目的のためなら手段は選ばないタイプの人ですね。もし、行けるのなら、霊峰カイルスに五体投地で巡礼に行きたいと思っています。

機械コース
奥本 良博
先生より



ずるい考え方 ゼロから始める ラテラルシンキング入門

木村 尚義 著 現場川柳委員会 編

みなさんは、「ずるい」という言葉にあまり良いイメージは持たないと思います。しかし、「ずるい」と一言で言っても、その背後にはさまざまな意味やニュアンスがあり、「ずるい」考え方は新しい発想を生むことがあります。私は常にオーソドックスな方法でものごとの課題に取り組んでいました。あるときふと周りを見渡すと、自由な発想でものごとの課題を最短で解決する人を見つけ、「その手があったか！ずるいな」と思うことがあります。本書では、わかりやすい例を用いて、ものごとを水平方向に多角的に見る「ラテラルシンキング」という思考法を紹介しています。一般的な考え方に縛られるのではなく、「その手があったか！」と思われるような思考法を身につくことで、社会が抱える課題の解決の助けになるかもしれません。是非一読をお勧めします。

電気コース
内野 翔太
先生より



脳の大統一理論 ：自由エネルギー原理 とはなにか

乾 敏郎・阪口 豊 著

ChatGPTをはじめとするAIの発展が近年話題になっています。最新のAIはまるで人間のように賢いふるまいを見せることがありますが、基本的には、データから学習された確率を計算し、もっともらしい出力を行っています。私たちが人間は、AIとは違い、そんな確率の計算ではなく、きちんと論理的に考えて物事を判断しているはずである…最近まで私もそう思っていました。そんな常識を覆す最新の「脳」の理論をわかりやすく解説したのが本書です。自由エネルギー原理と呼ばれるこの理論では、私たちが物事を知り、考え、体を動かすといった一連の脳の働きは、すべて「確率の計算」によって行われていると説明されます。そんなはずはない、私たちの頭の中は確率などではない、と思った方は、ぜひ一度本書を手にとって考えてみることで、私たちが普段何気なく行っている知覚・認知・運動・思考・意識・情動などについて深い示唆を得ることができるかもしれません。

情報コース
太田 健吾
先生より

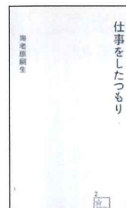


環境問題、 ウソとホントがわかる本

道事務所 編・著

私たちの生活の中で「冷房の温度を28℃に設定しましょう」「エコバッグを使用しましょう」といった呼びかけをよく耳にします。しかし、こうしたエコ活動はどの程度効果があるのでしょうか？もしくはそもそも本当に効果があるのでしょうか？こういった疑問を解決するために、様々な環境問題について、数値データを使用しながら、かつ社会背景も含めて説明してくれる一冊です。疑問ごとに簡潔にまとまっており、時々漫画も交えて説明してくれているため、読みやすい本になっています。教科書の内容+αの知識を身に付けたい人におすすめです。

建設コース
景 政 柵
先生より



仕事をしたつもり

海老原 嗣生 著

皆さんが高専を卒業し、社会人になってから必ずぶつかる壁があります。それは、「いつも忙しいのに成果が出ない。なぜだ？」という悩みです。この悩みと格闘している時には、大抵の場合、「仕事をしたつもり」になっていることが多いです。本書では、仕事をしたつもりとはどういう状態のことを指すのか、仕事したつもりから脱却するためには一体どのようなことを意識すればよいかなど説明しています。私は、学生時代にこの本に出会い、日々の行動が変わりました。皆さんも興味があればぜひ読んでみてください。

化学コース
江 連 涼友
先生より

01 BINGO ゲーム

図書館ではさまざまな形で読書活動の推進に取り組んでいます。新しい試みのひとつとして、今年は夏休み期間限定のBINGOゲームを企画しました。

ご好評につき、第二弾を計画中です。今回参加を逃した人は、次回ぜひ挑戦してみてください！



図書館でBINGO!

本を借りるとBINGOゲームに参加でき、BINGOを達成すると景品がもらえます。

景品には、雑誌の付録や図書館長から提供いただいた、本校の売店で使える商品券も含まれていました。

参加してくださったみなさん、ありがとうございました！

* BINGO の遊び方 *

- ① 借りたい本を選びます
- ② 本の背表紙にあるシール（分類番号）の頭番号をみます
例：007.64のシールの頭番号は【0】です
- ③ BINGOを目指して、いろんな番号の本を選びます
- ④ 借りる本とBINGOカードを持ってカウンターへ
- ⑤ BINGO達成で景品ゲット！



02 ビブリアバトル!

好評のビブリアバトル、今年度もすでに2回実施しました。私(松尾)もバトルーとして参戦させていただきましたが、テーマへの思い入れが走りすぎて上手く紹介できませんでした。抑制が大事ですね。バトルはさておき、一つの本の世界にみんなが入っていく雰囲気が面白いと感じています。後期にも開催予定です。興味のある学生、職員の参加を歓迎します。ギャラリーでも大歓迎！

ルール

- ① 各自（バトルー）が気に入った本を持参し、5分で内容や魅力を紹介。
- ② 2～3分で質問やディスカッションを実施。
- ③ 最後は参加者の投票で「チャンプ本」を決定。

● 第1回（2023.5.24（水）16：10－16：55）ラーニングコモンズ

バトルー	紹介本（★はチャンプ本）
4I 岡田真弥	吉田基晴『本社は田舎に限る』（講談社＋α新書、講談社、2018年）
(M教員) 奥本良博	★ F・ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』全5巻 (亀山郁夫訳、光文社古典新訳文庫、光文社、2006～2007年)
3M 前田彩乃	阿川佐和子『アガワ家の危ない食卓』（新潮文庫、新潮社、2022年）
(G教員) 松尾俊寛	スティーブ・ブルサッテ『恐竜の世界史』（みすず書房、2019年）
ギャラリー	学生16名、教員2名

● 第2回（2023.6.27（火）16：10－17：00）ラーニングコモンズ

バトルー	紹介本（★はチャンプ本）
2I ブラウン悠生	ジョン・フラナガン『アラルエン戦記』全14巻（岩崎書店、2012～2019年）
4M 豊崎陽大	★ チャールズ・エリス『敗者のゲーム 原著第6版』（日経BP日本経済新聞出版本部、2022年）
(司書) 大谷かりん	朝井リョウ『学生時代にやらなくてもいい20のこと』（文藝春秋、2012年）
3E 吉成清人	硬梨菜／作 不二涼介／画『ジャングリラ・フロンティア クソゲーハンター、神ゲーに挑まんとす』（講談社、2020年～）
3I 小川未来	一条岬『今夜、世界からこの恋が消えても』（メディアワークス文庫、KADOKAWA、2020年）
ギャラリー	学生22名、教職員6名

チャンプ本
紹介者コメント

奥本良博先生

一生に一度、時間がたっぷりあるときに読んでもらいたい本として

『カラマーゾフの兄弟』を推薦しました。

読むとロシアの広大な大地が目の前に迫ってきます。

各種大会報告

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
全日本ジュニア柔道体重別選手権大会徳島県予選					
2023.4.16	個人	男子 60kg 級	準優勝	2M	花 岡 蓮
		男子 100kg 級	準優勝	1-4	笠 輪 宗 吾
		男子 66kg 級	第 3 位	1-3	太 鼓 地 悠 成
第 77 回中国四国学生陸上競技対校選手権大会					
2023.5.21	個人	女子 800m	第 6 位	5C	黒 田 凜
徳島県高等学校総合体育大会柔道競技					
2023.6.3	団体	男子団体	第 3 位		
2023.6.4	個人	男子個人 60kg 級	第 3 位	2M	花 岡 蓮
		男子個人 66kg 級	第 3 位	1-3	太 鼓 地 悠 成
		男子個人 100kg 級	第 3 位	1-4	笠 輪 宗 吾
徳島県高等学校総合体育大会水泳競技					
2023.6.4	個人	男子 200m 平泳ぎ	第 2 位	3E	炭 谷 吏 皇
		男子 100m 平泳ぎ	第 3 位	3E	炭 谷 吏 皇
		女子 200m 個人メドレー	第 2 位	1-3	山 口 叶 音
		女子 200m 自由形	第 2 位	1-3	山 口 叶 音
徳島県高等学校総合体育大会テニス競技					
2023.6.4	団体	男子団体	第 3 位	2I	鹿 島 颯 人
				3E	田 村 将 理
				2E	大 石 敦 士
				1-3	森 山 偉 久
				3E	栗 山 圭 佑
		女子団体	第 3 位	3E	宮 内 優 衣
				2I	岡 久 紋 乃
				2E	関 口 心 菜
				2Z	西 田 舜 梨
				1-2	福 岡 凜
徳島県高等学校選手権大会水泳競技					
2023.6.17	個人	男子 200m 平泳ぎ	優勝	3E	炭 谷 吏 皇
		男子 100m 平泳ぎ	第 2 位	3E	炭 谷 吏 皇
		女子 200m 個人メドレー	第 2 位	1-3	山 口 叶 音
		女子 100m バタフライ	第 3 位	1-3	山 口 叶 音
第 10 回全国高等専門学校弓道大会中四国予選					
2023.7.1	団体	女子団体	第 3 位		
	個人	女子個人	第 3 位	2C	奈 良 結 依
			第 5 位	5Z	甘 利 ありさ
		男子個人	第 5 位	3E	森 悠 生
第 60 回四国地区高等専門学校体育大会水泳競技					
2023.7.1	個人	男子 50m 自由形	第 2 位	4M	鈴 江 睦 来
		男子 200m 平泳ぎ	第 1 位	3E	炭 谷 吏 皇
		男子 200m 背泳ぎ	第 1 位	5C	松 本 直 大
		男子 4×100m メドレーリレー	第 3 位	4M	鈴 江 睦 来
				3E	炭 谷 吏 皇
				5C	松 本 直 大
				3M	宮 繁 楓 空
		女子 50m 自由形	第 1 位	1-3	山 口 叶 音
		女子 200m 個人メドレー	第 1 位	1-3	山 口 叶 音
2023.7.2	団体		第 3 位		
	個人	男子 100m 平泳ぎ	第 1 位	3E	炭 谷 吏 皇
		男子 100m バタフライ	第 1 位	5C	松 本 直 大
		男子 4×100m フリーリレー	第 3 位	4M	鈴 江 睦 来
				3E	炭 谷 吏 皇
				5C	松 本 直 大
				3M	宮 繁 楓 空
		女子 100m 自由形	第 1 位	1-3	山 口 叶 音
			第 3 位	2M	一 柳 里 菜
第 60 回四国地区高等専門学校体育大会バドミントン競技					
2023.7.2	団体	男子団体	優勝		
	個人	男子シングルス	第 1 位	5C	井 上 怜 嗣
		男子ダブルス	第 1 位	5C	井 上 怜 嗣
			第 2 位	5I	高 田 悟 希
				3E	片 野 蓮 音
				2E	川 野 伊 吹
第 60 回四国地区高等専門学校体育大会バレーボール競技					
2023.7.2	団体	男子	準優勝		
		女子	準優勝		
第 60 回四国地区高等専門学校体育大会テニス競技					
2023.7.2	団体	男子団体	優勝		
	個人	男子シングルス	第 1 位	2I	鹿 島 颯 人
			第 2 位	3Z	熊 尾 醒 知
			第 3 位	4C	浦 大 輝
		男子ダブルス	第 1 位	2I	鹿 島 颯 人
			第 2 位	2E	大 石 敦 士
			第 2 位	4M	伊 達 猛 人
				5I	北 野 敦 己
		女子シングルス	第 1 位	3E	宮 内 優 衣
			第 3 位	2I	岡 久 紋 乃
		女子ダブルス	第 1 位	2I	岡 久 紋 乃
			第 2 位	1-2	福 岡 凜
				3E	宮 内 優 衣
				4E	宇 津 和 奏
			第 3 位	2E	関 口 心 菜
				2Z	西 田 舜 梨

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
第 60 回四国地区高等専門学校体育大会柔道競技					
2023.7.8	団体	男子団体	準優勝		
	個人	男子 81kg 級	準優勝	4M	武 市 航 征
		男子無差別級	準優勝	1-4	笠 輪 宗 吾
第 60 回四国地区高等専門学校体育大会サッカー競技					
2023.7.9	団体		準優勝		
第 60 回四国地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技					
2023.7.9	個人	男子ダブルス	準優勝	1-1	坂 東 蒼 空
				4I	天 満 雪 虎
		女子ダブルス	優勝	4Z	敷 内 陽 奈
				4Z	鳥 羽 咲 希
第 60 回四国地区高等専門学校体育大会陸上競技					
2023.7.15	個人	男子 100m	第 3 位	2M	野 口 弘 樹
		男子 400m	第 1 位	2E	桑 野 隼 人
		男子 1500m	第 3 位	4M	浅 野 俊 亮
		男子 110mH	第 2 位	5M	森 麗 央
		男子 4×100m	第 2 位	1-2	山 澤 斉 周
				5Z	橋 本 渉 太 郎
				4M	三 居 大 智
				2E	桑 野 隼 人
		男子走高跳	第 1 位	5M	大 前 雄 三
			第 3 位	1-3	松 川 快 慈
		男子走幅跳	第 2 位	1-2	山 澤 斉 周
		男子やり投	第 3 位	5Z	橋 本 渉 太 郎
		女子 100m	第 2 位	5C	黒 田 凜
		女子砲丸投	第 2 位	1-2	福 岡 凜
2023.7.16	個人	男子 800m	第 2 位	4C	中 谷 優 太
		男子 5000m	第 2 位	3E	東 明 佑 樹
		男子 4×400m	第 2 位	2E	桑 野 隼 人
				4C	高 橋 颯 太
				4C	中 谷 優 太
				4M	浅 野 俊 亮
		男子三段跳	第 1 位	2E	桑 野 隼 人
		女子 800m	第 1 位	5C	黒 田 凜
		女子走幅跳	第 2 位	5C	黒 田 凜
	団体	総合	優勝		
令和 5 年度徳島県高等学校夏季テニス大会					
2023.7.23	個人	男子シングルス	第 3 位	1-3	森 山 偉 久
第 56 回全国高等専門学校サッカー選手権大会四国地区大会					
2023.7.27	個人		優秀選手賞	3C	前 田 哲 汰
				3Z	宮 本 歩
				4Z	山 田 蒼
徳島県高等学校秋季テニス大会					
2023.8.23	個人	男子ダブルス	第 3 位	2I	鹿 島 颯 人
				2E	大 石 敦 士
2023.8.24	個人	男子シングルス	第 3 位	2I	鹿 島 颯 人
第 58 回全国高等専門学校体育大会第 29 回全国高等専門学校水泳競技大会					
2023.8.26	個人	男子 100m バタフライ	第 2 位	5C	松 本 直 大
		女子 50m 自由形	第 3 位	1-3	山 口 叶 音
第 58 回全国高等専門学校体育大会陸上競技					
2023.8.27	個人	女子 800m	第 1 位	5C	黒 田 凜
		男子三段跳	第 8 位	2E	桑 野 隼 人
第 58 回全国高等専門学校体育大会ソフトテニス競技					
2023.8.31	個人	男子ダブルス	第 3 位	1-1	坂 東 蒼 空
				4I	天 満 雪 虎
第 58 回全国高等専門学校体育大会バドミントン競技 兼 第 47 回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会					
2023.8.31	個人	男子ダブルス	第 3 位	5C	井 上 怜 嗣
				5I	高 田 悟 希
2023.9.1	個人	男子シングルス	優勝	5C	井 上 怜 嗣
徳島県テニス協会					
2023.9.1	個人		優秀選手賞	3Z	熊 尾 醒 知
				2I	鹿 島 颯 人
				3E	栗 山 圭 佑
				3E	田 村 将 理
				3E	宮 内 優 衣
令和 5 年度阿南市体育祭柔道の部					
2023.9.3	団体	高校・一般の部	準優勝		阿南工業高等専門学校 A
			第 3 位		阿南工業高等専門学校 B
	個人	高校・一般の部	準優勝	1-3	太 鼓 地 悠 成
			第 3 位	2M	花 岡 蓮
			第 3 位	1-4	長 坂 航 希
第 53 回徳島県高等学校新人陸上競技大会					
2023.9.17	個人	男子 400m	第 2 位	2E	桑 野 隼 人
2023.9.18	個人	男子走幅跳	第 3 位	2E	桑 野 隼 人

阿南工業高等専門学校 学生課 電話 (0884) 23-7134

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265 E-mail: gakusei@anan-nct.ac.jp